

# 平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

## 2 事業報告概要

### 地域の現状と課題について

- 東急田園都市線、たまプラーザ駅直結の施設で、大型商業施設の中にあることから利便性が良く、市内外の利用者が多く来館され賑わっています。
- 美しが丘エリアは地域住民が、自分流の地域活動に参加をしており、地域づくりに参加したいという意識も高く、経済的に恵まれた方の多い地域である。しかし一方では家庭内崩壊、引きこもり問題など外には見えにくい閉ざされた個別な課題が多い地域です。また、高齢化率の高い地域や、ご近所と関わりのない高齢者が多く住む集合住宅では多くの問題を抱えています。
  - 山内エリアは古くから地元に住んでいる方が多く住民の繋がりが比較的出来ており、お囃子や神社など古くからある文化を伝承しながら生活する地縁の濃い地域で、住民が主体となって地域活動を積極的に行っています。
  - 課題としては、高齢者虐待、緊急対応、精神疾患、DV問題、多問題家族など、多様なケースが多く発生しており、地域関係機関との連携や、支援者としても高いスキルが求められる地域です。
  - 障がい者関係の施設や、支援団体が非常に少ないエリアで、障がい児・者に対する支援も必要な地域ですが、地域住民には障がい者に対する理解が不足しています。
  - オレオレ詐欺や消費者被害が後を絶たない状況で、警察や民生委員などと協力して注意喚起をしています。

## 3 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- 職員が毎日交代で施設内の自主検査や点検など安全確認チェックを行い、設備の保全管理や防犯に努めています。
- 貸出備品に関しては毎回、数や破損などの確認をして、適正な備品管理を行いました。
- 全ての職員は五つの委員会活動（安全管理・研修学習・エコ・お祭り・親睦会）の何れか担っており、各委員会活動を通して職場や施設の維持管理に努め、活動については毎月の職員会議で報告をしています。
- 施設内に「ご意見箱」を設置し、利用者からの改善要望等が上がった場合には、出来る限り速やかに改善を図っています。
- 多目的ルーム、地域ケアルーム、倉庫の扉が破損した為にステンレス板を取り付けました。破損原因は機の異動で有ることから、今後も破損する恐れのある場所にもステンレス板を設置して予防対策をとり管理しています。
- 環境管理として毎週の水質点検や、月に一度の空間汚染点検を行っています。

## イ 効率的な運営への取組について

- 地域の連絡会や定例会に出向く機会を多く持って施設や事業のPRを行い、地域の回覧なども活用してケアプラザの活動を幅広く広報し、新しい利用者を増やすように心掛けました。
- 毎日の朝礼で各自一日の流れを全員で確認し、また毎月、職員会議や各部署のミーティングを行い事業計画や事業評価、情報共有などを効果的に実施しました。
- イベントや教室を開催した時は終了後にアンケートを取っており、事業の評価やニーズの把握を行って次の事業に繋げています。
- ホームページにカレンダーを置き、来館しなくても事業の予定や、活動報告が確認出来るようにしています。
- 毎月「ケアプラザ事業予定」を、各月で「プラぶら通信」広報紙を作成して、自治会、民生委員、老人会、郵便局、交番、東急インフォメーション等幅広く配って、広報活動を積極的に行いました。

## ウ 苦情受付体制について

- 苦情については責任者が速やかに対応をするとともに、再発防止についての職員間で検討をして来ました。  
また、全ての苦情については法人内の第三者委員会に掛けて第三者委員の意見を反映させ再発防止や、透明性のある施設運営を行っています。
- 施設内に「ご意見箱」を設置して、来場者からの苦情や、運営に関する意見等を集めやすいようにし、集まった意見に対しては職員間で改善策を検討しています。

## エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 自衛消防隊を結成して、定期的な消防訓練に参加し、事務所内にも役割が一目で分かるよう組織図や緊急時建物管理事務所の連絡先を張り付ける等、組織的な対応を図っています。また、大規模災害が夜間や休日に発生した場合を想定して、連絡網を作成し職員に配っており、また緊急時用としても備え付けて有事に備えています。
- 来館者が多いケアプラザなので不審者の侵入を防ぐ為にも来館者に積極的な声掛けを行い、事故を未然に防止する取組も行っています。
- 地域の防犯パトロールに参加し、防犯の抑制と地域住民や警察との連携を図りました。
- 火の元や戸締りなど自主検査や点検を目的に安全確認チェックを毎日行い、設備保全管理や防犯に努めました。
- 会場利用団体や、事業に参加している方には災害時の注意事項（避難口案内・安全確保・避難誘導）の説明を行って、迅速に避難出来るようにしています。
- 災害時における特別避難場所として機能できるよう、区と「災害時等における施設利用の協力に関する協定」の締結を行い、また災害備蓄品の管理も担当を決めて適正に管理を行い、職員会議でも災害時の動きや、備蓄品の説明を行っています。
- 利用者の往来が多く安全確保の為に警備会社と契約を行い、24時間警備の体制を整えています。
- 避難訓練を年2回実施しており、消防法を順守した運営を行っています。

## オ 事故防止への取組について

- 職員の中から安全管理委員会を選出して緊急や事故発生時の対策、事故防止に向けた研修、マニュアルの評価修正を行っています。
- 事故を四つに分類（貸館事故、自主事業中の事故、居宅介護支援事業や地域包括支援センター訪問時の事故、感染症発生時の事故）したフローチャートを作成して、誰もが目につく場所に吊して有事に備えています。
- ヒヤリハット報告も毎月、職員間でシェアして事故再発防止に努めて安全対策につながる業務改善等を継続して実施しています。
- 毎日、当番制で施設内点検を実施し、点検の見落としが無いようにチェック項目をシート管理し、保安全管理や防犯に努めています。
- 子供が多く利用するプラザルームの安全性を高め、事故を予防する為にハード面やソフト面での見直しを行って、安心安全に施設を利用出来る環境整備をしています。

## カ 個人情報保護の体制及び取組について

- 個人情報が入力されている個人のノートパソコンを盗難から防止や、個人でパソコンを持ち出せないようにワイヤーロックで固定し安全を確保しています。
- 個人情報をSDカードやメモリースティックなど記録媒体に落とし込み、外に持ち出す事を禁止し、PCのソフト更新や不信メールの開封を禁止しています。
- 個人情報ファイルの棚は毎日施錠し、適正な場所に管理しています。
- ファックスなどを送る時や、郵便物を大量に送る場合は二重チェックとし、他の職員にも声を掛けて確認作業をする事でご配信を防止しています。
- 個人情報研修をOJTで行い、個人情報チェックシートなどを利用して業務の見直しを行って、職員のコンプライアンス意識を高めています。

## キ 情報公開への取組について

- ホームページを毎月1回以上更新し、平成28年度からはブログも立ち上げて、事業案内や情報発信を行っています。
- 広報紙「プラぶら通信」を隔月、「行事予定表」を毎月、「事業チラシ」を適宜発行し、地域へ向けた情報発信を継続しています。広報紙は自治会や関係機関に広く配布しています。
- 法人の運営状況等資料はホームページで閲覧可能にし、管内掲示して情報公開に努めています。

## ク 人権啓発への取組について

- 職員のOJTとして地域包括支援センターの社会福祉士より高齢者虐待や、人権保護の研修を行っています。
- 法人内でも外部講師を招き、職員を対象とした人権研修を年1回実施しており、職員の意識の見直しを行っています。

## ケ 環境等への配慮及び取組について

- ゴミ排出量削減（G30）推進の為、館内にゴミ箱は設置無く、利用者にゴミの持ち帰りの協力を呼びかけて、市民のゴミ削減意識の向上に繋がっています。
- 事業系ゴミに関しては適正なゴミ回収を行ってマニフェストを管理し、事業で発生した段ボール、シュレッター紙屑はリサイクルとして分別してリサイクル処理に回しています。
- エネルギー削減対策として館内に節電や節水の貼り紙をし、職員の中からもエコ委員会を選出して水道光熱費の状況報告や節電などの呼びかけからエコ活動の意識向上を行っています。
- 「空調機フロン排出抑制法」に基づいたフロン漏えい防止に向けても、点検委託事業者に追加点検を契約事項に加え適切に管理している。

## 4 介護保険事業

### (1) 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ・主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、看護師1名（常勤3名）
- ・予防支援プランナー1名（非常勤専任1名）

#### 《目標》

- 継続して利用者になるべく自立した日常生活を送られるよう、必要な介護予防サービス・インフォーマルサービスの効果的な利用などを支援しました。
- ケアプラザでのインフォーマルサービスを積極的に支援して認知症カフェや、元気づくりステーション、介護予防や幅広い層の日常の通いの場として活用しました。
- 委託先の居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの連携や支援、担当者会議等を可能な限り行いました。  
また、総合事業への利用者のサービス移行は来年度に向けても継続しています。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
175	183	192	178	179	185
10月	11月	12月	1月	2月	3月
175	185	163	172	164	166

## (2) 居宅介護支援事業

### 《職員体制》

- ・常勤兼務・・・ 2名
- ・非常勤専任・・・ 1名

### 《目標》

- 自立支援の視点に立ったケアマネジメントを行い、ご利用者の望む生活実現を大切に、居宅介護支援業務に努めました。
- 研修や学習会に積極的に参加し、ケアマネジャーとして資質の維持・向上に努めました。
- ケアマネジャーとしての視点から地域ニーズを抽出し、ケアプラザ全体とした介護予防・自立支援に向けた事業企画にも積極的に取り組み、多様で柔軟な生活支援の地域作りにむけて活動しました。
- ケアプラザにある事業所である事から、地域包括支援センターと連携をとり、困難事例を積極的に受け入れています。
- 職員間の連携を強化し、担当件数の上限数を常に達成できるよう努めました。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 関係行政機関、地域の保険・医療・福祉サービスと連携を図って、インフォーマルサービスも積極的に取り入れた総合的なサービス調整に努めました。

### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
71	77	75	77	76	82
10月	11月	12月	1月	2月	3月
75	68	69	70	73	70

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

(4) 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月



## 5 地域ケアプラザ

### ア 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ケアプラザの立地からエリア外住民の相談や、他区や他市県の相談者が来所される事もあり、まずは総合相談として話を伺い、必用に応じて担当エリアの地域包括支援センターや、担当ケアマネジャーと連絡をとり情報提供を行いました。
- ケアプラザに寄せられる相談に関しては全ての相談を受け、ワンストップ窓口として地域の方に安心してもらえるように心掛け対応し、ひきこもり世代や児童の分野についても機関等に問合せをして継続支援して行けるように引き継いでいます。
- 情報提供としてチラシをケアプラザ内に、高齢者・子育て関係・地域活動団体・地域情報等と分かりやすく配置し、それを見ている来場者には積極的に話しかけて相談等や支援が必要なケースは直ぐに地域包括支援センターに繋げています。

### イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- 地域活動交流として行った事業のアンケート結果を地域のニーズと捉え、地域包括支援センターに提供し福祉に関する事業の企画に活用して、企画段階から話し合い多角的に計画を作成しています。
- 包括支援センターで行っている総合相談や個別ケースの相談などの内容を地域交流活動コーディネーター・生活支援コーディネーターに情報提供し地域課題を共有しています。
- 地域ケア会議の一部に協議体としての機能を持たせ、個別ケースの解決にとどまらず地域の問題として解決できるよう連携しています。

### ウ 職員体制・育成

- 職員が長く働け、離職者を出さないような環境を整える為に、法人として階層別人材像を明確にしたキャリアアップ体制を構築しており、職員が専門性を高めながら長く勤められる職場体制を目指しました。
- 職員から研修委員を選出し、1年間に行なうべき必須研修計画を立て、それを実施しました。
- 研修内容は、接遇、倫理、コンプライアンス、専門職としてのスキルアップ等実施し、資格更新やキャリアパスにつながる研修については勤務扱いとし、研修費用や交通費を負担して参加者の負担軽減を図りました。
- J Tの職員研修はケアプラザ内部と法人全体で行っており、職員育成に向けた取り組みを継続して実施しています。
- 地域包括支援センターにおいては、相談業務などでは利用者のニーズを深く理解する事に努め、その上でサービス利用の情報提供が必要な時は、必ず選択出来る提案を行って中立性を確保できる職員育成をしています。

## エ 地域福祉のネットワーク構築

- 地域の協力員である自治会や民生委員等の定例会に参加して関係を維持し、地域ケア会議の開催、高齢者や障がい者の支援等を積極的に行い、地域住民の自立した生活を地域の方と共に支えられるように幅広いネットワーク構築を目指した活動を継続しています。
- 地域のニーズを探るため自治会や老人会等にも毎月参加し、顔見知りの関係を構築して、提案や意見の出やすい関係作りを進めています。
- 青葉区医師会で取り組んでいる青葉区医療・介護連携や、災害時地域医療検討会、次世代郊外まちづくり等とも連携し、地域包括ケアシステムの推進を行っています。
- 二つの地域で行う防犯パトロール・商店会活動・地域内でのまつり・防災訓練・学校や地域で行う運動会など地域行事に参加し、情報共有から幅広いネットワークを維持、推進しています。

## オ 区行政との協働

- 「どにち☆ひろば」の継続的な開催を青葉区こども家庭支援課と行っています。
- 青葉区との共催事業「災害時に得する口腔ケア」「ニコニコピカピカ歯みがき教室」「育児教室」「フラワーネックレス事業説明会」等の場所確保で協力しています。
- 山内地区チーム会議・美しが丘地区チーム会議に地区サポートチーム職員として参加しています。
- 横浜市と東急が進めている「次世代郊外まちづくり」に貸館を通じての協力及び、定期会議への参加、情報提供等で協力しています。
- 行政各機関等からの視察依頼や、事業見学等の受け入れや、対応を行っています。
- 青葉区福祉保健センター学校支援と連携して、職場体験学習（中学生）を受入れています。

## 6 地域活動交流部門

### ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 広報紙「プラぶら通信」奇数月に、「行事予定」は毎月発行しており、その他「各種事業チラシ」は地域向けに毎月情報発信をしています。
- 「ボランティア活動の案内」や、福祉保健協力団体のメンバー募集案内等、地域の福祉保健活度に繋がる情報発信も掲示板などを使い行っています。
- ホームページやブログを活用して、活動する福祉保健団体の記事を掲載して地域住民に向けた情報発信を行い、ケアプラザ事業案内や活動報告などに活用しています。
- 住民から福祉保健活動に関する問い合わせや、サークル活動への参加希望があった場合は、会の内容や活動日時などの情報提供を行って見学等に繋げ、希望者が活動を継続できるような支援を継続しています。
- これまでに関係構築をしてきた地域の関係団体（連合自治会・単位自治会・地区社協・老人会・民生児童委員・保健活動推進員・地区民児協・圏域内の小中学校・地区保健活動推進員会・家防災・防犯パトロール・圏域内の4小学校のはまっこ・ケアプラザの登録団体等）は多岐にわたり、定例会等に参加をして情報収集及び情報提供を行っています。

## イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 貸館の利用者が多いのですが、福祉保健活動団体が活動しやすいように各団体の利用頻度や傾向を把握し、定期利用が望ましい団体については年間で会場利用が出来るように予定を組んで支障がないよう調整しています。
- 登録団体数が多い事から活動団体が希望する部屋の予約が重なり、抽選で外れた団体をフォローするために、希望する日時に活動が出来るよう、第三希望まで部屋を選択してもらい、抽選で外れた場合も可能な限り活動が出来る配慮を行い、利用者本位の視点で対応しています。
- 利用団体の代表者会議を開催し、適正な施設利用の案内や団体からの要望等を把握し、ルールの確認等から活動団体が公平に利用出来るような取組を続けています。
- 自主企画(自主事業)から、自主化した福祉保健活動団体が日頃の活動に困らないよう団体の区分けを福祉保健活動団体(団体Ⅰ)に位置づけており、活動がスムーズに出来るように支援をしています。
- 登録した福祉保健活動団体にはケアプラザ祭りに参加してもらい、楽器演奏・歌・作品展示等でボランティア活動を積極的に行っています。

## ウ 自主企画事業

### ○高齢者関係

- ・一人暮らし高齢者の孤食問題を解決するために、夕食会を地域のボランティアと開催して、区社協や地区社協と連携して高齢者が気軽に集える事業を始めました。
- ・健康意識の高い地域である事から運動系事業を毎月開催し多くの方に参加してもらい、そこで運動習慣の習得、運動のきっかけ作り、運動の継続を講座の中で説明し、介護予防に向けた取り組みを行いました。
- ・高齢者の生きがい作りとして事業も数多く開催し、希望者にはケアプラザの福祉保健活動団体の活動を紹介して繋げ、また活動団体のPRやメンバー募集の掲示板を作成して、希望者が活動しやすい環境を整備しています。
- ・介護者の集いを年2回実施、福祉用具の事業者と協力をしながら介護技術の講習、またC団体にフルートの演奏を依頼し、その後、介護者同士の意見交換を行い、介護者への支援を行っています。
- ・事業後にアンケートを取っている中で、歌の会の希望が多い事から年間4つの事業を定期的で開催して利用者のニーズに答えています。
- ・オレンジプランに基づき認知症サポーター養成講座を実施し、信託銀行・商業施設等へ「認知症の正しい理解」としてサポーター養成講座を行い、相談窓口としての包括支援センターの周知も行いました。
- ・新オレンジプランにもとづき認知症カフェを地域包括や居宅介護支援事業と毎月開催しており、毎回40名前後の参加者が共に交流出来る居場所づくりを継続して行いました。

### ○子育て関係

- ・子供の居場所づくりとして「子供食堂」を地区社協と地域関係団体のボランティアと一緒に開催し、食事提供や、学習支援などから、学校や家庭に馴染めない子供や親の支援を行っています。
- ・区役所子ども家庭支援課、健康づくり課とも連携を図り、利用者にも地域ケアプラザの機能や役割を理解してもらい、今後の利用に結びつく事業の案内をしています。
- ・子育て中の母親の健康づくりにも注目し、ピラティスや、親子で楽しめるリトミックを開催して、仲間作りや身体を使いリフレッシュできる企画を実施しています。

- ・音楽イベントや食事会などにも、子育て世代も参加して楽しめる企画も行い、多世代交流に繋がっています。

#### ○障がい児・者関係

- ・障がい児を対象にした「おもちゃのひろば@たまプラーザ地域ケアプラザ」を、「あおばおもちゃのひろば」と共催し、障がい児の親の居場所や輪づくりを毎月実施しています。
- ・発達障害児の事業も開催し、養護学校や小学校等と連携しています。
- ・継続して開催してきたダウン症児とその家族の居場所づくりに、父親も参加してもらえるように土曜日開催とし、集いに参加する事で、家族で支え合えるような支援を行って団地の自立に向けた取り組みをしました。

#### ○その他

- ・地域ニーズから認知症や、引きこもりの方が集える場所作りとして「認知症カフェ」や「麻雀の会」を開催し、ボランティアが中心に開催する事で地域住民が力を発揮しインフォーマルサービスとして大きな展開に結び付けるよう支援しています。
- ・がん患者や遺族などが集える場として「がん患者と遺族が集えるカフェ」を遺族ボランティアと立ち上げ、イベントやカフェを通して、がん患者や家族の居場所づくりや、がん患者への理解などを地域に広める活動をしています。

## エ ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア登録をされた方や、地域のキャラバンメイトが活動して頂けるように自主事業等へ参加協力を依頼して、継続して活動出来る場の提供を行っています。
- 認知症や引きこもりの居場所づくりとし「プラぶらっとカフェ」認知症予防、「プラぶらじゃんじゃん」引きこもり防止、を継続しており、平成28年から「たまプラごはん」こども食堂、「たまコネ食堂」高齢者の孤食防止、「たまプラーザがん哲学外来カフェ」癌患者と遺族などの会、を立ち上げて、毎月ケアプラザで活動しています。そこではボランティアが中心に自主活動ができるようにケアプラザで支援し、安定した運営の支援を継続しています。
- 地域からボランティア活動のリーダーとなりえる方を育成し、ケアプラザと一緒に地域のボランティア活動を推進する団体「ぷらボラ」を立ち上げ、毎週火曜日に活動を続けています。
- ボランティア希望者が多い地域であり、ボランティアを発掘して総合事業等に繋がるよう自主事業活動に繋げ、新たに運動系の自主事業を立ち上げました。
- 「よこはマイキイキポイント」のボランティア登録者が活動出来るよう、ポイントリーダー設置の指定を受けて、登録者が活動出来るような呼び掛けを行っています。
- 個人の折り紙ボランティアが活動出来る場として、自主事業「おりがみであそぼう」を開催し「たまプラおりがみ隊」(ボランティア団体)立ち上げの支援を行いました。
- 福祉保健協力団体のボランティア活動をコーディネートし、ケアプラザ事業や地域の学校や施設などでボランティアが出来るように支援を行いました。

## 7 地域包括支援センター

### (1) 総合相談・支援

#### ア 総合相談

- 包括支援センターの立地が駅近隣で便利な事もあり相談件数は多く内容も様々です。高齢者の相談や、介護保険の問い合わせ・申請は年間を通じて多くありました。
- 地域の高齢者人口も着実に増えており、独居高齢者や介護力の弱い家庭への支援、虐待などに関する相談ケースも継続して見られます。
- 困難ケースなどは民生委員等の地域協力員や、担当ケアマネジャーと連携や支援をして解決に繋げています。

#### イ 地域包括支援ネットワークの構築

- 地域の協力員である自治会や民生委員等の定例会に参加して関係を維持し、地域ケア会議の開催、高齢者や障がい者の支援等を積極的に行い、地域住民の自立した生活を地域の方と共に支えられるように幅広いネットワーク構築を目指した活動を継続しています。
- 地域のニーズを探るため自治会や老人会等にも毎月参加し、顔見知りの関係を構築して意見の出やすい関係作りを進めました。
- 二つの地域で行う防犯パトロール・商店会活動・地域内でのまつり・防災訓練・学校や地域で行う運動会など地域行事に参加し、情報共有から幅広いネットワークを維持している。

#### ウ 実態把握

- 老人会定例会に定期的に参加し地域包括支援センターの役割、機能を周知しました。
- 美しが丘、山内民児協のとの意見交換会に参加し、地域特性を把握しています。
- 総合相談票、業務日誌からエリア別に相談を分類したが、活用までは至っていない。

### (2) 権利擁護

#### ア 権利擁護

- ・参加している老人会で振り込め詐欺についての件数を伝えながら注意喚起を実施。
- ・地域向けに弁護士から相続遺言、エンディングノートについての講話、市民後見人候補者、行政書士から講話を行い分かりやすく制度概要の周知を行い専門職との関係を維持している。

#### イ 高齢者虐待

- 民生委員、ケアマネジャーが参加する合同包括カンファの中で虐待の寸劇を行い広く虐待についての周知を行いました。
- ケアマネジャーから相談を受けて対応したケースは、区役所、包括の職員、ケアマネジャーと共に支援方針を検討する会を設け、チームとして虐待ケースに関わっています。ケアプラザに虐待者が来訪した際には認知症の説明を行い、ケアマネジャーにも報告する等継続して支援を行っています。

#### ウ 認知症

- 認知症サポーター講座を年間6回開催し、商業施設、信託銀行、地域住民、高校生に向けて行っている。地域のキャラバンメイトにも講座の開催を依頼して協力して講座を開催しています。
- 認知症カフェ開催時、茶話室を併用して開催し、介護者が専門職とも相談できる窓口を用意して対応しました。

### (3) 介護予防マネジメント

#### ア 介護予防ケアマネジメント力

- 今年度の介護予防支援研修で、担当地域のケアマネジャーに向けて、大場、緑の郷、ビオラ市が尾、区と共催で、日常生活総合支援事業開始に繋がられるよう、インフォーマルサービスを活用し目標管理に基づいた自立支援ケアプランを学んでいます。
- インフォーマルサービスの共有や、ケアマネジメント手順の確認を行い、ケアマネジメント力のレベルアップを図っています。
- 地域のケアマネジャーと連携し、サービス担当者会議等に極力参加するようにし、適切なケアマネジメントが行われるよう支援した。

### (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 28年度は特に高齢化が進んでいるたまプラーザ団地を「地域ケア会議」で取り上げ、地域住民や自治会、老人会等各関係者と情報を共有して皆で見守り支える体制作りを考える場としました。
- 人口が多い事もあり中々意見の集約は難しかったものの、会議を通じて各団体の思いや地道な活動を相互理解することができ、今後に繋げることが出来た。

#### イ 医療・介護の連携推進支援

- 包括エリア内の医療機関や薬局など定期的にケアプラザの広報誌や包括支援センターの案内等を配布するなどして地域ケアプラザの役割や周知を継続して行った。
- 年間に複数回行われる包括カンファレンスを通じて医療と介護のスムーズな連携が図れるように青葉区在宅医療連携拠点や訪問看護ステーションの協力を得ながら意見交換して各ケアマネとの連携推進に繋がっています。

#### ウ ケアマネジャー支援

- 毎月開催している包括カンファレンスの中でよりケアマネのスキルアップや情報共有につなげられる様な内容を取り上げて、他のケアマネジャーにも情報を還元するようにしています。
- 手軽に相談しやすい環境を維持する事で包括と居宅との情報共有をスムーズにして支援体制と地域ケアマネジメントの底上げを図っています。
- 区のケアマネ連絡会と連携し各講習等で医師や看護師、薬剤師との協力体制が築けるよう関係作りを行った。年度の前期・後期共に新任ケアマネジャーの個別支援を行っています。

## エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

### (5) 介護予防事業

#### ア 介護予防事業

- 新石川地区での介護予防事業の展開については、自治会、山内地区東保健活動推進員や山内地区の民生委員の協力を得、宮元自治会館の利用が可能となりました。
- 平成28年度には「元気塾」を毎月開催し、徐々に参加人数も増えてきた。年度末に参加者からH29年度も開催を継続して欲しいとの声があがったため来年度も毎月開催の予定です。ただし自主グループ化に関しては、現時点ではグループリーダーを担う人材を見出すことは難しく、元気作りステーション化に至っていない。

### (6) 生活支援体制整備事業

#### ア 実施したこと

- 現在どのような地域活動が行われているか調査し、サロンやおしゃべり会には継続的に参加している。日常生活での困りごとなどの聞き取りを行うとともに生活支援体制整備事業のことを説明し理解を促すよう取り組んでいます。
- 包括支援センターと協力し地域ケア介護を開催。(2回)地域のニーズを各団体から聞き取りまとめ、情報を共有している。
- 地域の活動を活性化するためにケアプラザの貸館登録団体の紹介シートを作成し情報を提供しました。このことで活動を活発化、メンバーの高齢化による活動の停滞を防止しています。

## 8 その他

福祉保健協力団体に向けて、ボランティア活動を促すために団体説明会を三回に分けて開催し、新ケアプラザ利用細則の説明や、貸館ルールについても注意喚起を行い、また、年二回のボランティア活動を地域で行なえるように、学校や施設などからニーズを探しに行き、ボランティア活動に繋げている。

次年度も、ボランティアを地域で行えるようにコーディネートをして行きます。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,976	23,155	145					5,789
	介護保険収入				9,868	10,982			
	その他								
	介護予防ケアマネジメント費								
	収入合計(A)	17,976	23,155	145	9,868	10,982			5,789
支出	人件費	12,715	18,566			13,079			4,120
	事務費	1,040	749		7,140	1,376			
	事業費	322	0	95	435	346			70
	管理費	4,039	1,074						
	その他	207	454						
	施設使用料相当額								
	消費税	1,017							
	返還額	270	303						
支出合計(B)	19,610	21,146	95	7,575	14,801			4,190	
収支 (A) - (B)		-1,634	2,009	50	2,293	-3,819	0	0	1,599

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。



## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボールで体操	地域住民	60000	60000	0	5000 × 12回 60000	0	0
	25						
	0						
運動初心者トライコール	地域住民	36000	36000	0	3000 × 12回 36000	0	0
	25						
	0						
かんたん！椅子ヨガ	地域住民	24000	24000	0	2000 × 12回 24000	0	0
	25						
	0						
身体の事を学んで体操	地域住民	20000	20000	0	10000 × 2回 20000	0	0
	25						
	0						
詩吟物語	地域住民	0	0	0	0	0	0
	50						
	0						
食Men料理教室	男性	0	0	3000 × 8回 24000	0	3000 × 8回 24000	0
	8						
	1000						
ソフリットカフェ	地域住民	0	0	9000 × 2回 18000	0	9000 × 2回 18000	0
	30						
	300						
昔遊びで脳活 3CP+山内地区センター 共催事業	地域住民	0	0	0	0	0	経費は美しが 丘CPが負担
	50						
	0						
発達の気になる 児童のダンス教室	小中学生と親	0	0	0	3000 × 1回 3000	0	0
	10組						
	0						
中高年の簡単パン教室	地域住民	0	0	4000 × 3回 12000	0	4000 × 3回 12000	0
	8						
	500						
発達凸凹の子供支援 を考える会	障がい児の親	0	0	0	0	0	0
	15						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ほっとおしゃべり会	障がい児者	0	0	0	0	0	0
	なし						
	0						
おもちゃのひろば @たまプラーザ地域ケアプラザ チャレンジタイム	障がい児者	22000	0	0	2000	0	0
	なし						
	0						
ママの健康輪づくり講座 前期・後期	乳児・ママ	100000		25000	50000	0	0
	30組×2回						
	1000						
すこやか親子セミナー	ダウン症児と親	0	0	25000	2500	0	0
	なし						
	500						
離乳食セミナー	地域住民	0	0	0	0	0	0
	20組						
	0						
おやこでリミック	乳児・ママ	0	0	0	0	0	0
	15組						
	0						
うたを歌う会 「たんぼぼ」	地域住民	8000	2000	0	2000	0	0
	なし						
	0						
昭和・平成の歌謡	地域住民	0	0	0	0	0	0
	なし						
	0						
おりがみであそぼう！	地域住民	0	0	0	0	0	0
	なし						
	0						
認知症カフェ 「プラぶらっとカフェ」	地域住民	54000	6000	100	0	お茶・お菓子代 4500×12回	0
	なし						
	100						
プラぶらじゃん雀	障がい者	10000	10000	0	0	机・マット 等の備品他	0
	20名						
	0						
英語DEリミック	子育て	5000	5000	0	5000	0	0
	なし						
	40名						
障がい児、者のための 外出付添ボランティア	障がい者支援	0	0	0	0	0	0
	なし						
	30名						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
夜のりらくすヨガ	地域住民:女性	24000	24000	0	2000 × 12回 24000	0	0
	20						
	0						
おはなしごっこ	地域住民	10000	10000	0	5000 × 2回 10000	0	0
	20						
	0						
おとなのお話会 ～和み語り～	地域住民	8000	8000	0	2000 × 4回 8000	0	0
	50						
	0						
実践！ 救護法講習会	地域住民	10000	10000	300 × 14 4200	300 × 14 4200	4200	講師派遣費 は区社協に 申請した。
	20						
	0						
ブルーベルベットと 一緒に歌おう	地域住民	0	0	0	0	0	0
	60						
	0						
冬の音楽会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	60						
	0						
たまコネ食堂	地域住民	0	0	500×30名 × 12回 180000	0	180000 食材料費	ボランティア 団体が予算を 管理します
	30						
	500						
たまブラごはん ～子ども食堂～	地域住民	0	0	5000 × 12回 60000	100～300円 年齢により 違います	60000	ボランティア 団体が予算を 管理します
	30						
	100～300円						
たまブラーザがん 哲学外来カフェ	地域住民	0	0	100×30 × 10回 30000	0	30000 講師車代 菓子代ほか	ボランティア 団体が予算を 管理します
	30						
	300円						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボールで体操	平成25年度からの継続事業。 地域の概ね60歳以上の方を対象とした「転倒予防」の健康体操事業。ボールを使用し、自宅でも簡単に行うことができ、身体に負担をかけずに体幹運動や下肢筋の増強を目指す。また、体を動かす習慣を身に付ける。 H25年度は、福祉保健活動団体「フィットネスボール」（自主活動サークル）に発展しており、可能であれば発展的な活動の支援を行う。  講師：健康運動指導士	毎月1回 ×12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
運動初心者 トライコース	運動初心者を中心に開催し、運動に心配の方や、普段運動をしていない方に参加してもらい、運動をする切っ掛けづくりになってもらい、ケアプラザの運動系事業で継続してもらう事業です。  講師：宝塚歌劇団出身・健康運動実践指導者：1名	毎月1回 ×12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かんたん！ 椅子ヨガ	H27度から継続事業 床にマットを敷き、ヨガをすることが困難な方や、ヨガが初めての方が対象。ゆっくりとした動きや呼吸を整えながら、安心して体を動かし、体調を整える。  講師：シニアヨガインストラクター（2名）	毎月1回 ×12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中高年の簡単 パン教室	男性が気軽にケアプラザに来館してもらおう。調理を通じて男性の自立を促し、地域で仲間づくりができるように支援する。	3回/年程度

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食Men 料理教室	男性が気軽にケアプラザに来館してもらう。調理を通じて男性の自立を促し、地域で仲間づくりができるように支援する。	3回/年程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
発達気になる 児童のダンス教室	H25年度から継続している事業の継続。 軽度の障がいを持つ小学生や中学生などが、ダンスを通して運動を行、保護者の交流などにも繋がるように開催する。  講師：宝塚歌劇団出身・健康運動実践指導者：1名	1回/年程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
身体の事を 学んで体操	身体に痛みがある方や、運動に不安のある方向けで、痛みのメカニズムや、痛みを緩和して運動をする方法を人体模型を利用して、柔道整復師から説明を受けて運動を行う。	6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
発達凸凹の子供 支援を考える会	H25年度から継続している事業の継続。 発達凸凹のあるお子さんを持つ保護者やその周りの支援者がイライラしたり不安になった時に相談できる機関が身近にあることを周知する。また、孤立を防ぐ目的。発達凸凹のある子供たちがその子どもらしく安心して生活ができるよう親や周りの支援者がどのように関わっていけばよいのか子育てのことを学び、仲間づくりをすることで安心して生活できる一助となる。 講師：1名	4回/年 (季節毎)

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すこやか親子セミナー	午前中：実績のある講師(大久保朋子氏：社会福祉士・育児セラピスト・教員免許他)による「おやこふれあいあそび」や、療育の指導などを行う。 今年度は父親や兄弟にも参加してもらい、関係性評価や療育のアドバイスをして行きたく、また就労している方が多い事から開催を土曜日にして多くの参加に利用してもらおう。	10回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこでリトミック	保育園で行っている「リトミック」を体験することで保育園の取り組みを知る機会と親子で楽しく安心して安全に過ごす時間と場所の提供。  講師：保育園 リトミック講師	6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたを歌う会「たんぼぼ」	H25年度からの継続事業の継続。 地域ニーズの高い「みんなで歌を歌う会」当ケアプラザの季節の定番となっている。 2部形式 1部・2部共に参加者からのリクエスト形式で歌集から歌を選んで歌う。季節毎のうたをみんなで歌う。 2部では、講師の独唱や独奏の時間もある（事前リクエスト有） 講師：うた（1名）・伴奏（1名）	4回/年（季節毎）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昭和・平成の歌謡	H27年度からの新規事業。 地域ニーズの高いみんなで歌を歌う会。 うたを歌う会「たんぼぼ」とは別に、「昭和・平成の歌謡曲」をみんなで歌う会を開催している。  講師：1名	6回/年

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
離乳食 セミナー	こども子育て支援事業として開催し、概ね妊婦から8か月のお子さんの扶養者に集ってもらい、離乳食についての説明を栄養士に指導してもらい、子育てをする親へのサポートを栄養士に行ってもらい、月齢の近い親同士の関係作りや、「どにちひろば」の活動支援に繋げて行く。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夜のりらくす ヨガ	夜間帯に来館される方を対象にした女性対象の事業。 中学生以上の女性の多世代交流。 ゆっくりとして動きで体をほぐし、一日疲れた体を癒す。 講師：ヨガインストラクター：2名	12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おとなの おはなし会 和み語り	H25年度からの継続事業の継続。 大人のための「お話を聴く会」。語り手たちが次々と、地域に伝わる伝説や民話・創作などを語る。視覚障がい者も安心して参加できる事業。  語り手：語り手たちの会 横浜	4回/年（季節毎）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
詩吟物語	登録団体である「詩吟朗詠錦城会」のボランティア活動として、住民に向けて詩吟の楽しみを伝える発表会をし、地域の方に楽しんでもらい一緒に活動する仲間を増やして生きがい作りの一環にしていく。またケアプラザを地域にアピールする機会とする。	1回/年

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとおしゃべり会	H27年より開始事業。 ほっとサロン青葉との共催。 精神的に不安な方や障碍を持つ方が、孤立せず、外出することで閉じこもり予防及び、地域に潜在的に存在する閉じこもりがちな方・精神疾患の方・他者との交流が苦手な方・相談したいけれどどうしたらよいか困惑している方等が、気軽に外出でき安心して過ごすことができる場の提供。	4回/年（季節毎）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃのひろば @たまプラザ 地域ケアプラザ チャレンジ タイム	H25年度からの継続事業。 H26年度からは、「チャレンジタイム」のみで実施 発達の心配のあるお子さん・障がいのあるお子さんやそのご家族が安心して過ごすことができる場と時間の提供。また、安心して「活動」（自主的な活動）を行うきっかけづくり。地域の既存の活動団体や活動されている方が関わるきっかけづくり。支援が必要な方は療育センターに繋ぐ。 あおばおもちゃのひろば・療育センターあおばとの共催	1 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママの健康 輪づくり講座	H25年度からの継続事業の継続。 子育て世代のママの交流の場の提供及び、意気地ストレスを開放することによる心身の安定を図り、いきいきと生活ができるような一助、仲間づくりのきっかけづくり。かわりばんこ保育でママはピラティスを行い、産後の運動不足の解消を図る。 チームWITH：共催	2期（前期・後期） 5回/前期 5回/後期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ソフリット カフェ	新地域人応援講座修了生「ソフリット」による地域活動とケアプラザとの連携 ①多世代交流（会話・コミュニケーション） ②ソフリットに活動から地域ボランティアへの関心を持ってもらう ③閉じこもり予防（CPへの来館を通じ、外出のきっかけづくり）	2回/年



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おりがみであそぼう！	H25年度からの継続事業の継続。 多世代交流事業。 地域ニーズが高いため、今年度より、年間の実施回数を増加して実施。人気キャラクターや季節にちなんだ折り紙を参加者の希望を聞きながら折る。  講師：1名 アシスタント：たまプラおりがみ隊	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昔あそびで脳活	山内地区センターと、美しが丘CP、大場CP、たまプラザCPが共催で行う事業で、山内地区センターを会場として行う。 昔あそび（お手玉・けん玉）を体験してもらい、子どもの頃の遊びが脳を活性させて認知症予防に役立つ事を知って頂き、体験してもらうイベント。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ「プラぶらっとカフェ」	認知症の方やその家族・おやっと思う方・閉じこもりがちな方が、気軽に外出でき楽しむことができる場と時間の提供。認知症予防も目的としている。  支え手：地域住民ボランティア・ 地域住民キャラバンメイト	12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラぶらじゃん雀	① 疾病や障がい（中途障がい）等で外出の機会が無い住民等が誰でも集える場所の提供。 ② 麻雀というツールを利用して、参加者同士が交流を持ち外に出る切っ掛け作り。 ③ 地域を支える支え手（ボランティア）の活躍の場の提供 ④ ケアプラザに気軽に来館してもらい、支援するケアプラザの機能を知ってもらう。 ⑤ 参加者との交流から、支援の必要性のチェックし、支援が必要な時には専門機関へ繋ぐ。	22回/年

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市たまプラザ地域ケア

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
英語D e リトミック	アメリカでトレーニングをした講師が英語のリトミックを行って、親子のコミュニケーションや、グローバル社会に強い子育てについてアドバイスをし、レクレーションで楽しんでもらう。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者のための 外出付添 ボランティア	地域住民への障がいへの理解のきっかけづくり ボランティア活動に関心のある方への正しい知識を身に付けて頂くきっかけづくりであり、障がい（知的障害・身体障害）についての説明、ボランティア活動についての説明等 中原養護学校の瀬戸さんが講師	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬の音楽会	H26年度からの継続。 多世代交流事業。 当ケアプラザの冬の定番となる「音楽会」 ジャズやポップスの演奏とみんなで歌う会。  演奏：ポップス演奏サークル うた：コーラスサークル	1回/12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ブルー ベルベットと 歌おう	H26年度からの継続。 多世代交流事業。 当ケアプラザの定番となる「女声コーラス ブルーベルベットと一緒に歌を歌う会」  うた・伴奏・歌唱指導： 女声コーラス ブルーベルベット（サークル）	1回/年

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなし ごっこ	横浜市及び青葉区の読書推進の取り組み、及び、事業計画に基づく 子育て中の母親と子供の居場所づくりと交流・仲間づくり 親子のスキンシップの機会、わらべ歌などの伝承による文化的事業 子どもの読み聞かせを行う団体を立ち上げて、地域の親が読み聞かせ活動を行う自助グループ立ち上げを目指す。	1 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実践！救護法 で安心生活	家庭内や地域で発生する事故に関する救護法を短期講習で学び、高齢者や子育て世代が安心して生活することを目的に開催する。開催は土日に行って、就労世代の参加も取り込みたい。 短期講話（2時間）を予定し、日常生活での危険・事故時の蘇生法等を大人や子供のダミーや、AEDや三角巾を使った実技を中心に開催する。また乳幼児の誤嚥対策や蘇生法等も交えて幅広い対象年齢で学ぶ機会とする。 ※三角巾はお土産とする。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たまコネ食堂	たまプラーザで一人暮らしをしている方や、孤食の方を中心にボランティアが食事を作り、また地域の高校生もボランティアに参加してもらい、多世代交流も行う。	1 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たまプラ ごはん	地域の学校関係者や民生委児童委員、PTAなどがボランティアとして参加し、小学生を中心にした児童の居場所づくりを作り、食事も作成して提供している。	1 2回/年

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たまプラ がん哲学外来 カフェ	癌治療で苦しむ方、癌で家族を亡くされた方、癌患者を支援する方が集まり、カフェを開催して、生きる意味や、患者の思いを傾聴して、同じ患者からアドバイスをもらう集い。毎回20名以上の参加があり、新しい方も増えている。	10回/年